

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	2252	(H.29)No.	2252
-----------	------	-----------	------

事務事業名	意思疎通支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	障害福祉室	田中 資三	

会計区分	事業コード	172002
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	意思疎通支援事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
聴覚障害者等の日常生活の便宜と社会参加促進が図れる。
事業内容
・手話通訳者の市役所窓口への配置並びに派遣 ・手話通訳・要約筆記の研修、養成講座の開催 ・点訳・音訳奉仕員養成講座の開催

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	手話通訳者・要約筆記者派遣: 手話通訳 71件 要約筆記 23件  手話奉仕員養成講座事業委託:(伊賀市・名張市共同開催分)	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:53回  点訳奉仕員等養成講座 点訳講座:20回 フォローアップ講座:12回	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:53回 点訳奉仕員等養成講座 点訳講座:20回 フォローアップ講座:12回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:53回 点訳奉仕員等養成講座 点訳講座:20回 フォローアップ講座:12回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:53回 点訳奉仕員等養成講座 点訳講座:20回 フォローアップ講座:12回

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		5,288千円		6,871千円	6,871千円	6,871千円	6,871千円
内訳(千円)	国・県支出金	2,352		2,297	2,297	2,297	2,297
	地方債						
	その他(繰入金)	865					
	一般財源	0	2,071	0	4,574	4,574	4,574
人工数	職員		0.08人		0.08人	0.08人	0.08人
	臨時職員等		0.60人		0.60人	0.60人	0.60人
②概算人件費	0千円	1,672千円	0千円	1,672千円	1,672千円	1,672千円	1,672千円
①+②総事業費	0千円	6,960千円	0千円	8,543千円	8,543千円	8,543千円	8,543千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
「手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例」を制定し、3か年の具体的な取り組み方針を策定した。障害者に対する住民の理解や社会参加の機会も環境を整備したことにより、順調に伸びている。また、手話通訳奉仕員養成講座や要約筆記体験会への受講者数も伸びている。要約筆記体験講座を開催。好評を博したため、要約筆記サークルの方々との共同開催により毎年実施していく。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
「手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例」が制定され、具体的な施策については、障害者計画のひとつとして位置づけ、取り組みを進める。現在実施している事業は継続して推進し、一人でも多くの市民の理解が得られるよう条例の普及に努めるとともに、当事業にて、聴覚障害者のみならず、すべての障害者にとってコミュニケーションの手段が確保でき、自立及び共生社会を促進する。

## 6. 事務事業の取組に関する市の計画

第4次名張市障害者福祉計画 第5期名張市障害福祉計画
-------------------------------